

ぶっといっしょ



成年向

ずっといっしょ



ずっといっしょ

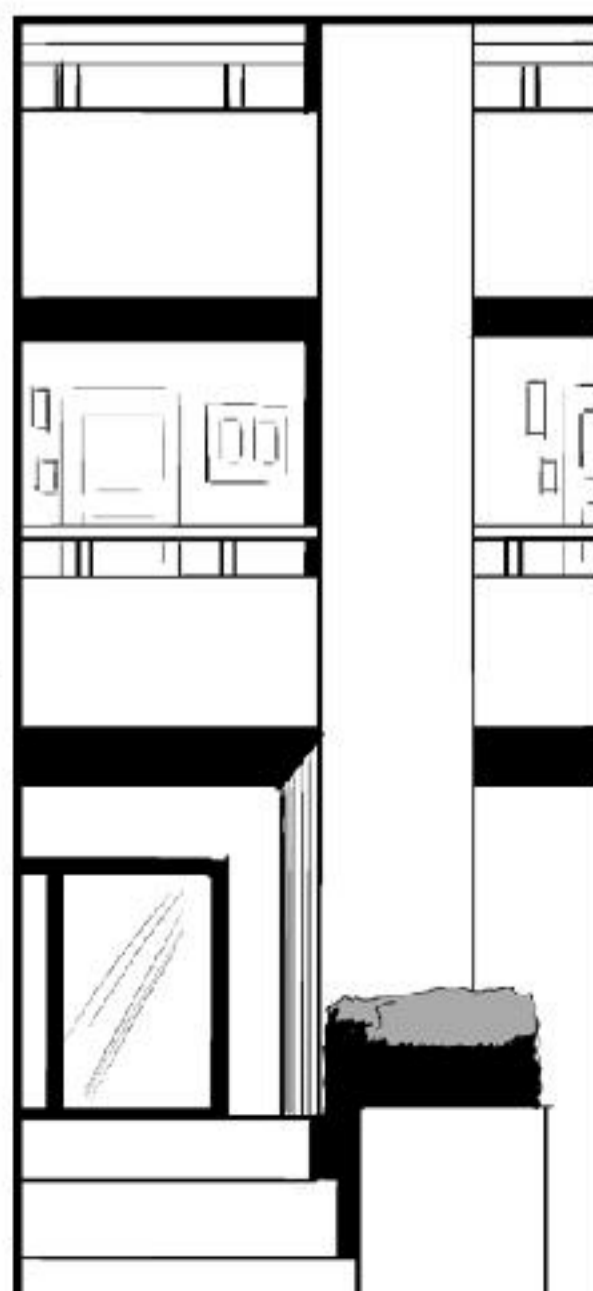
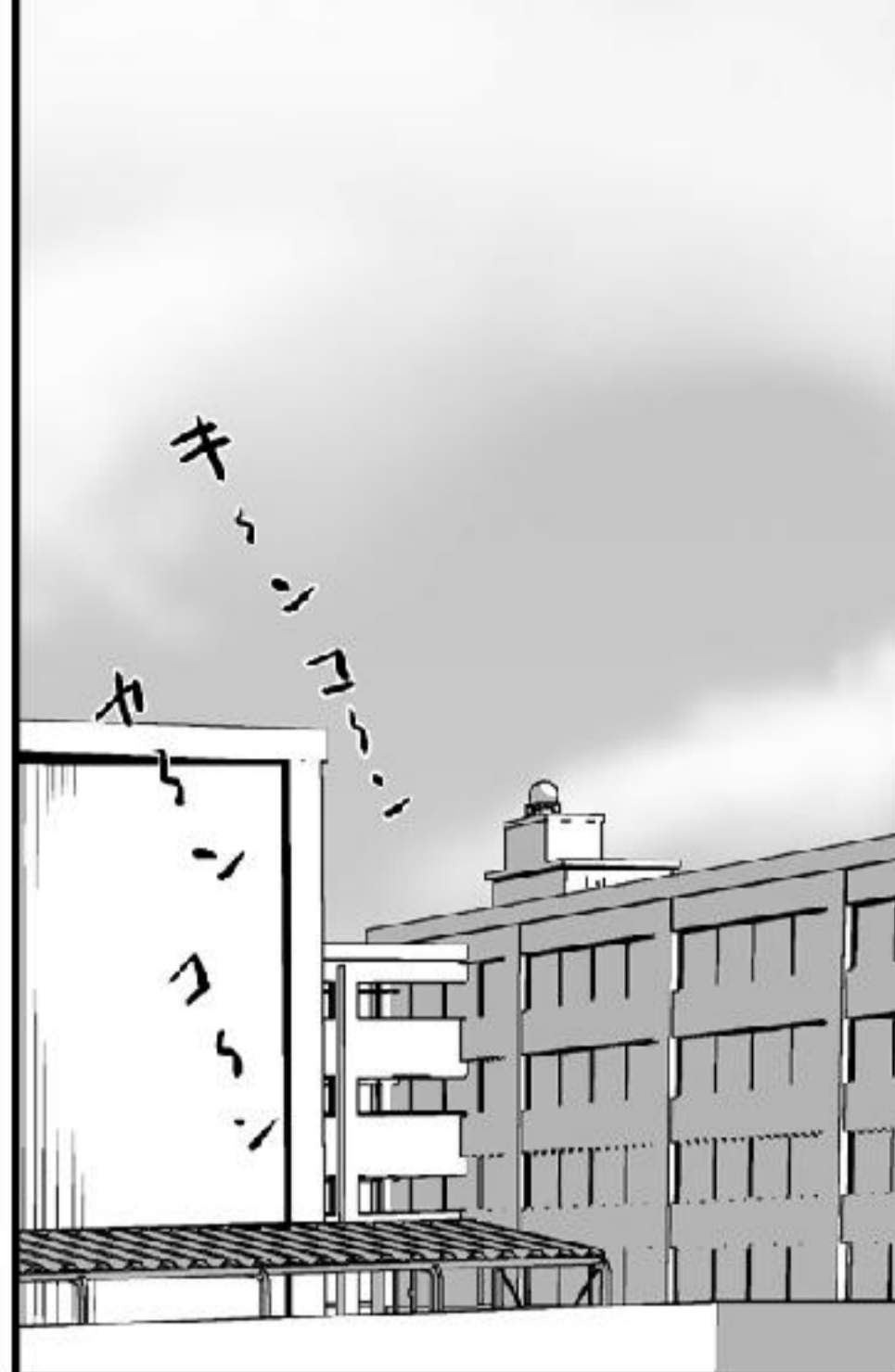
03 再教育開始

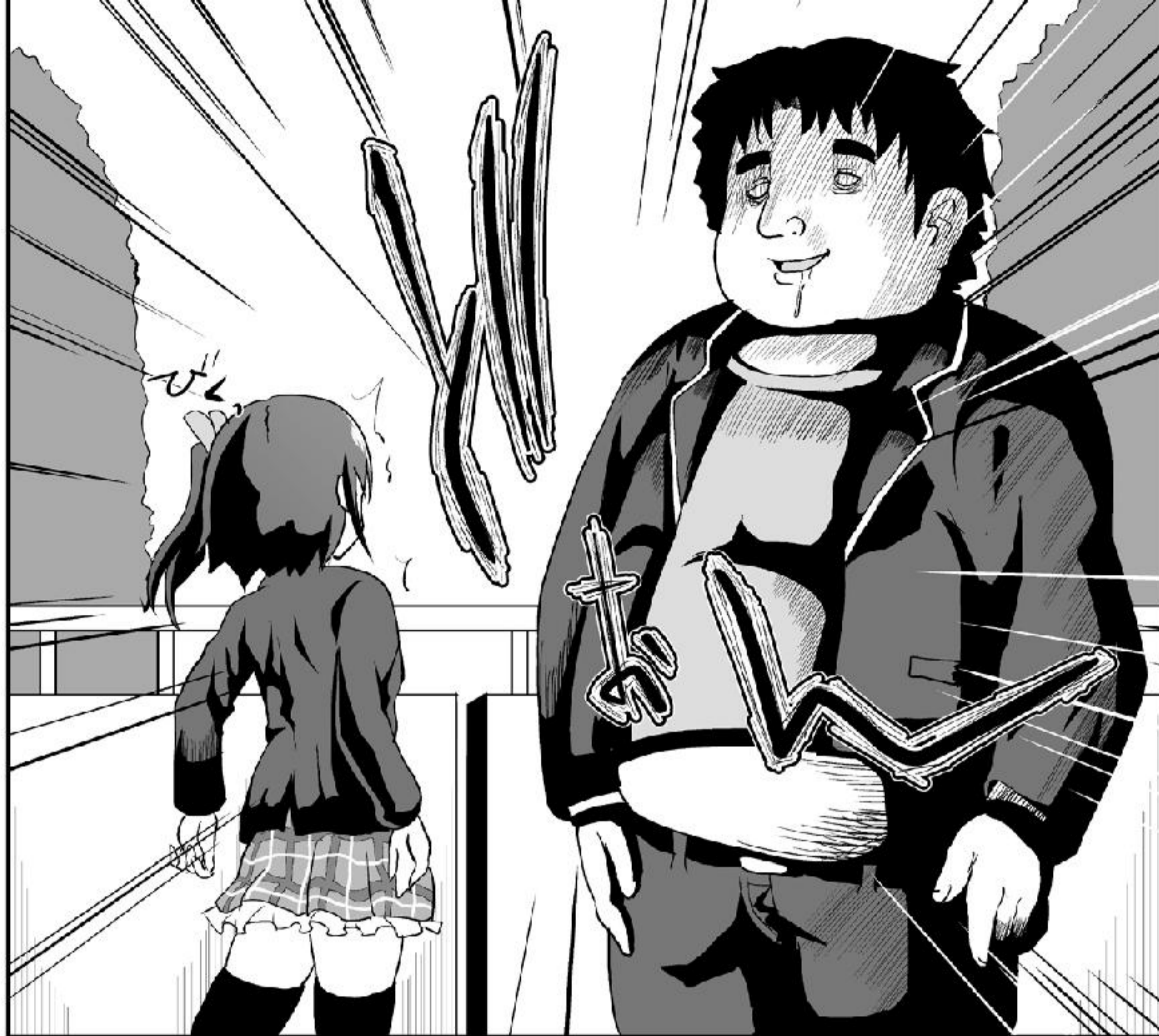
22 教室移動

26 再教育完了

35 おまけ

36 あとがき







そう！それだ！
 真眼の使い手である
 六花こそボクの
 下僕に相応しい

見ていたよ
 六花が暗黒の
 炎の使い手と
 契約していたのを

な・なにを

は・離せ

離さないよ
 邪王真眼の力を

ハハ

離せえん

ハハ

シ

ハハ

シ

ハハ







あははは
何?もう
中ニキヤラ
おしまいなの?

する!
契約するから
もう叩かないで

おしり叩かれた
くらいで
痛がってるなんて
ガキと一緒だよ



今は昼
だから本気が
出ない

夜になったら

へえ
そうなんだ



なんだ
もう降参か
情けない

邪王真眼が
聞いて
飽きれる



ボクの聖王神亀は
夜でも昼でも力は
変わらない設定だよ

聖王神器？

な：何
なにを出して

何って？
こいつが
ボクの



聖王神亀

こいつで六花と
契約するんだ

そ・そんな
汚いモノで

いやよ
私は閻属性

聖なんて
受け入れない

逆らうの？

ならまた
聖打百叩
しちゃうよん

うぐう



しっかり手で
固定しなっ
て

六花の穢れマンコ
には聖王神器が
入らないよ

聖と闇
最初は反発して
痛いだろうけど
ボクの力で
六花の闇も清浄
してやるよ

そうなれば毎日
神亀を
はめて欲しくて
自分から腰を
振るようになるぞ

うくうう



ならない！
私は

なるのだ！

はあああ

びくびく



聖王進撃腔破壊

いひい痛い! 痛い!
抜いてえええ

ふふふ六花ちゃんのもんこ小さくて狭くて
とってもいいよ



な! いやまさか

ちよっとこの体勢きついんだよね

ひう動かないれよ

よっと

それえええ

ひうう奥入ってる
ズブズブ入って
きちやうううう

口では嫌がっても
六花のマンユは
真の主を求めて
ギユンギユンと
ボクの神器を
締め付けてる

違うそんなこと

早くボクの聖液
欲しいんだね

もう射精
しちゃいそう

イクよ

はううう

べちやうう

いやら
そんなの

あひ

びくびく

いひ

びく

びく



穢れた
六花マンコに
聖液を注ぎ
込んでるよお

ひやあら
抜いて！中射し
やめれええ

聖液を注げば
注ぐほど
六花は強くなる
設定なんだから

もっと楽しんでよね

ボクたっぶり
貯めてるから
まだまだ射精
しちやうよおお

中射し
いやあああ

ぬいっえええ

あひっ

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん



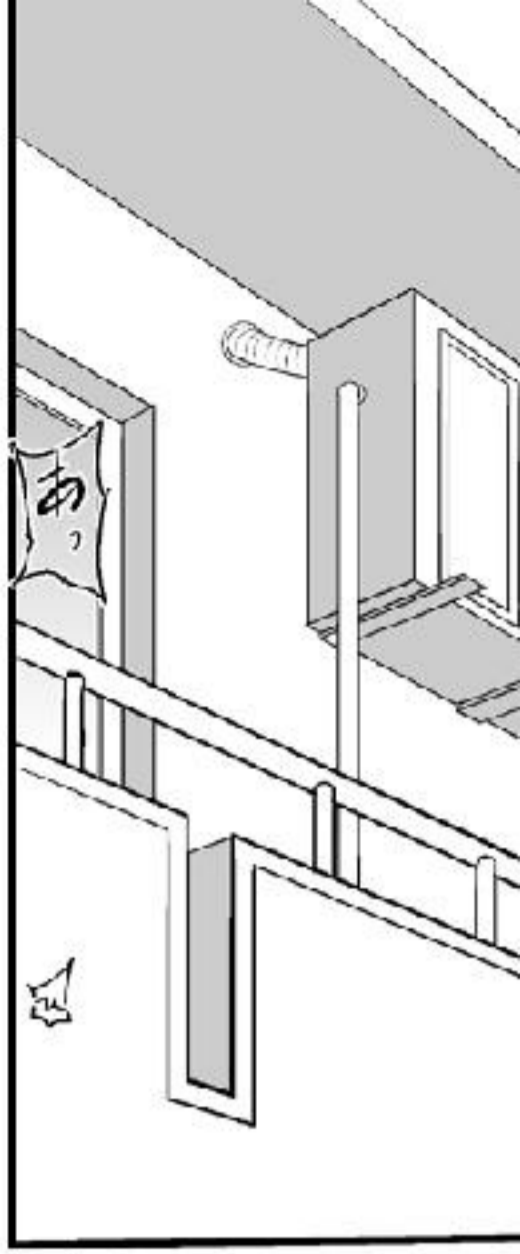
もう三時間以上
繋がりばなっして
聖液を十回以上
注いでいるけど

はく

どう？六花

あ

17:08



六花！
六花！

ゆ・うぐう



下僕になれたこと
が嬉しいかい？

はひい

嬉ひくなんてない
もうひやめれええ
聖液もういら
ない
私の中に注がないで

あう

ひくひく

やめ

口調が素に
なってるよ？
中二病は卒業か？
邪王真眼の使い手

キミの下僕
が来たか



うしうし



勇太に来て
欲しくなくて
そんな

ちゅーぽん

ドキ
ドキ

わ：私
自分からキスを

ドキ
ドキ



そんなにしかなら

絆が強まった
証のキスかな？

最高の
イベントじゃん

ほおほ

びく
びく

アハ

アハ



もうやめてええ
中一やめるから
もう許してええええ

いやああ
臭い
気持ち悪いよお





ご主人様もう
ひやめれええ
六花の中
もう聖液
注がにやいれ

もうこいつに
逆らえない

はへえひい

こいのの下僕に
なっちやうよおお

ゴッぽ
あーい

あーい

あーい



あーい

びく
びく



それから夜通しで私ほ
ご主人様に相応しい下僕に
なる訓練を受けた

ケツマン特訓で
アナルピーズを
詰め込む特訓

逆らうと聖打百叩か
聖液注入をされる



「ほらどんどん
入ってくよ」



痛いのはやだ
中出しもいやだ

悔しいけど仕方ない
力さえ戻ってくれば
こんなオタクデブは
瞬殺できる

だからあきらめた
自分でケツ穴を広げて
詰められるの耐える

それまでの我慢だ

レギヤン



「これで最後の一個」
 「だいぶケツ穴も
 広がったね」
 「はひいいご主人様」



「今夜はずっとこれを付けっぱなしだ」
 「そしたらボクの聖王神亀を今度はケツ穴に
 おっさして直腸に聖液が送れるよおお」
 「うれしいだろ？」

「はひいいご主人様」



「ケツ穴にビーズ詰められるの
 気持ちいいわ」

ご主人様に
 マンコ手で
 ヅンユヅンユ
 してもらえて
 六花は幸せれしゅう

「うふふふ
 だいぶわかって
 きたねええ」

「え？どこに？」
 「だってここだと本格的な
 特訓ができないからね」
 「うちに来るんだよ」
 いやだ、いやだ
 そんなのは絶対に
 「また叩かれる？」
 「い・行きましゆ」
 デブは立ち上がった
 私もそれに
 続く
 こんなデブ
 私の
 邪王真眼の力さえ
 戻ればなんとでも
 できるんだ
 力さ・え

早朝の町を歩く

マンコにはパイプを刺され
ゲツ穴にはアナルピストンを詰め込まれて

私が少しでも騒げば
デブはパイプの振動レベルを
最強にしてしまう

そうだったら私は路上で……

悶絶した挙句に潮を吹いて
おもらししてそれで、それで

だめだ！いやだ！

そんなのもう
生きていけない

人は少ないけど
みんな奇異な眼で
クネクネと歩く私を見る

襲ってくる快樂の波に
耐えながら
私は歩かされた。



家にゆくと
すぐにデブの肉棒を
舐めさせられた。



「おいしいかい六花」
「はひい、おいしいれす」

まずい！キモい！
吐き捨てたいよおお

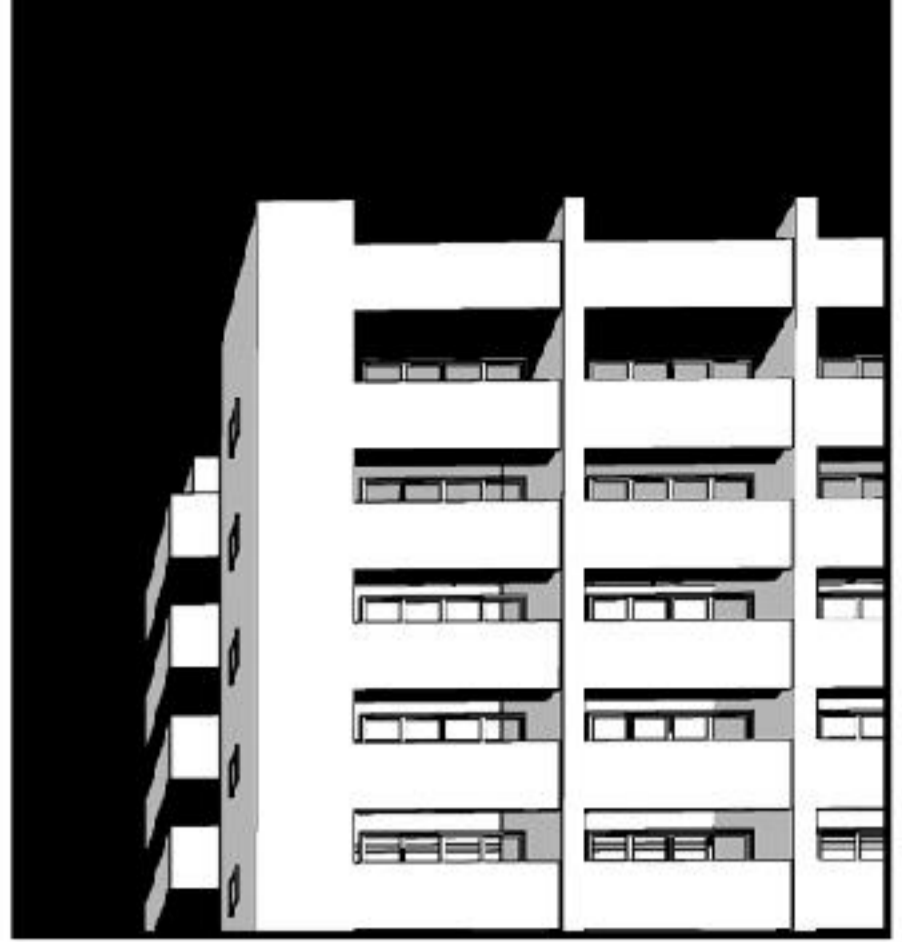


悔しい、悔しい
誰かお願い助けて

ゆ・勇太……

「聖液はこぼさずに
全部飲み干すんだよ」

「はぶううう」







ふざけんな
今夜これで
もう三回目だぞ

このしまりの
ないユルマンが

ギシ
ギシ
ギシ
ギシ
ギシ



反省してるなら
態度で示せよ
このバカ下僕が

ごめんなしやい
もうしましえんから
許してええ

あぐ

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

あぐ

が ぐ ぐ



どうした今度は
ケツ穴も緩いのか
ビーズが
抜けてきてるぞ

らっってもう三日も
はめられれば
にやしれええ

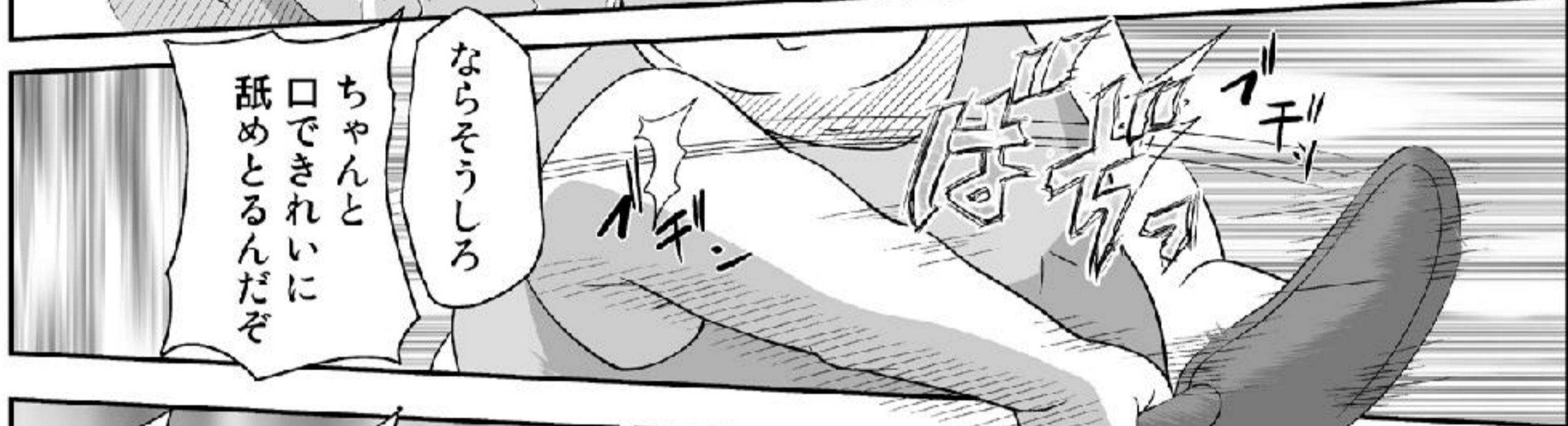




おいおい
どうすんだよ
これじゃあ今度は
臭くて
寝れないよ

どうして
くれんだよ

掃除しましゅ
片しましゅから



ならそうしろ

ちゃんと
口できれいに
舐めとるんだぞ



お前から出たもんは
お前の中に戻すんだよ
でないとせつかくの力が
吸収できないでしょ？

って設定ね

そ・そんな
舐めとるなんて
無理ですうう

うるさい！

設定なんだから
逆らうなよ



お前が片してる
間はこっちの穴で
楽しませてもらうぜ

ケツ穴も
ちようどいいくらい
広がったし

ひびく

いぢらああ



なんのために
三日もビーズを
詰めてた思ってたの？



無理、無理です
そんなおしりなんて



ひびく

ズッ





あははは
本当にうんこ食ってる
邪王真眼のプライドは
どこいっちゃたの？



お掃除
完了しましら

さすがは
ボクの下僕だね



我慢だ



耐えるんだ

力が戻るまで





糸 有 小 羽 白 A

びん
びん

びん
びん
びん

觸 千

白 木

糸 有 小 羽 白 B

□



印刷 太陽出版様
連絡先 akadamatenpo@yahoo.co.jp

[http://b.dlsite.net/
RG08665-kurojmono/](http://b.dlsite.net/RG08665-kurojmono/)

挨拶

こんにちは&はじめまして紅玉です。

このたびは『ずっといっしょ』を手にとって頂きありがとうございます。

原作では、いまいちそのかわいさを発揮しきれなかった六花ちゃんでしたがさすがは京アニです。もうその動き、演出、手の仕草とにか、アニメの六花ちゃんはかわいいです！もうでかい肉塊で包み込んでムギユムギユしてあれをしてこれをしてと妄想が膨らみます…。

さて私は原作を読んでいて、主人公にたいして「はあ」と思うシーンが多々あったんですがその中でもダントツのベスト1！が教師に向かって元気一杯の早退発言、それを許す教師「はあ！」ふざくんな！

…でもとっても楽しい作品でした『中二病でも恋がしたい』

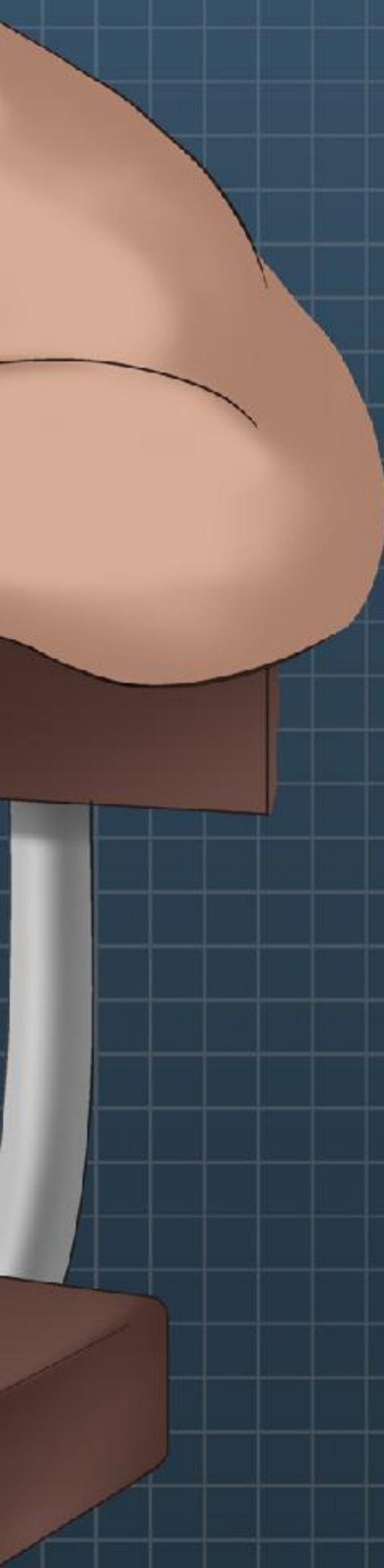
この一冊があなた様の一晩のお供になって貰えれば幸いです。ではではまたお目にかかれることを祈って。

[注意]

この物語はフィクションです。実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。本書籍は成人向けのため、18歳未満の方への配布はお断りさせていただきます。

また本作中で描かれる行為は、正しい性行為ではなく、犯罪です。絶対に真似しないで下さい。

この本を発行した事によって発生する全ての権利は放棄されておりませんので、スキャン画像の無断掲載や共有ファイルとしての利用行為はご遠慮下さい。



黒いモノ